

ようこそ！大阪自治労連へ



大阪自治労連青年部部长
中嶋 歩惟

いっしょに悩んで 考える
仲間がいるって すばらしい

新人職員のみなさん、ご就職おめでとうございます。期待と少しの不安を胸に新生活がスタートしているかと思いますが。私たち「大阪自治労連青年部」は府内の若い世代が集まる組合の中の組織です。会議やイベントを企画し、青年ならではの取り組みで同じ意識を持った仲間に出会い、つながりを作っています。大阪だけにとどまらず、全国に仲間、友だちができました。同じ悩みや同じ方向性で話ができる仲間がいることは、これからのみなさんの糧になります。

また、組合の中でこれからの自分たちの職場・給料がどうなっていくのか、自分の市がどのような状況なのかを知ることは決して損なことではありません。テレビなどのニュースには載らない自分たちのこれからをきちんと知るためにも、労働組合に入っって一緒にがんばりましょう。そして青年部のイベントなど楽しいこともたくさん経験していきましょう！

大阪自治労連主催 Welcome Partyも開催予定です。で、みなさんにお会いできるのを楽しみにしています。



交流がすすんだ東大阪市職労の歓迎会（4月5日）



交野市職労の新入職員歓迎パーティ（4月4日）



笑顔があふれた中河南地協の合同新入職員歓迎会（4月8日）

戦争法廃止2000万人署名



3月29日、なんば駅頭では多くの若者が署名に足を止めた

一筆一筆が

平和を守る

5月3日は扇町公園へ

戦争法施行の3月29日、大阪憲法会議・共同センターがなんば駅頭で行った大宣伝行動には、大阪市労組や東大阪市職労からの参加者も含め、150人が参加しました。

マイクを握った牧師さんや弁護士などから「戦争はテロを生み出し悪循環に陥る」「署名の一筆一筆の積み重ねが平和を守る」などの訴えに応え、高校生などが足を止め署名に筆を走らせました。また、先立つ3月28日には、寝屋川市職労も参加する「安保法制」（戦争法）廃止寝屋川連絡会が寝屋川市駅前で戦争法施行に反対する宣伝行動と署名活動を行いました。

大阪自治労連は立憲主義を踏みにじる戦争法廃止に向け、職場から、地域から署名を積み上げ、5月3日に扇町公園で開催される「5・3 おおさか総がかり集会」へおおぜいの仲間とともに参加していきます。

の要求を掲げ3・17大阪総行動が行われ、大阪府内各地でさまざまな行動が展開されました。また、大阪衛都連各単組は春闘の集中回答日となる3月16日に春闘統一交渉を行い、大幅な賃金引き上げを迫るとともに、戦争法廃止、くらしと福祉まもれと、組合員の切実な要求実現に向けたたたかいました。

た。交渉では「職場の状況聞くことができ、今後に活かしていきたい」との回答を得ることができました。

パレード後に、日本医労連の森田進書記次長を講師に「流れを変える16春闘にしよう」と題した学習会が行われました。診療報酬改定が及ぼす看護現場への影響、国内・諸外国と比較した賃金のあり方、署名と要求実現についてわかりやすく話されました。参加者は、国際水準に後れをとっている看護師の労働条件や賃金を改善することが、国民にとっても安心安全の医療職場につながることを改めて確信にすることができました。

3・17 大阪総行動

春闘山場交渉で奮闘

3月17日には、「全ての労働者の賃上げと雇用の安定・中小企業支援

で景気回復を」「大企業は社会的責任を果たせ」「戦争法は廃止」など

「府民の命を守れ」とナースウェーブ

医療部会

毎年大阪総行動に合わせ、大阪自治労連医療部会は、大阪医労連とともにナースウェーブ行動を取り組んでいます。午前は大阪府の地域医療、看護・介護などの部署と交渉を行い、午後には、白衣に着替え、パレードでも元氣よくシユプレコールの声をあげ、その後大阪市内で学習会を行いました。

「看護」の課題での交渉では、第7次看護需給計画の中で、「府下看護師数が227名多い」と職場を見ない発言に、実態に沿った人員ではないことを訴えました。地域医療構想がすすめられています、各病院から厳しい職場実態を報告し、府民の命を預かる看護師不足解消に向けた需給計画の見直しを要求しまし

今月のキーワード

電力小売り全面自由化

2016年4月1日から、電気の小売業への参入が全面自由化されることにより、家庭や商店も含む全ての消費者が、電力会社や料金メニューを自由に選択できるようになりました。小売自由化は、2000年3月に始まり、最初は、「特別高圧」区分の大規模工場やデパート、オフィスビルが電力会社を自由に選ぶことができ、これまでの10電力会社からも電気を購入することが可能になりました。その後、2004年、2005年には、小売自由化の対象が中小規模工場や中小ビルへと徐々に拡大しました。燃料費高騰などのリスクの影響が価格に反映されるため料金の変動が予想されます。

今月のキーワード

待機児童

「保育園落ちた」のブログに対して、国会での品位のないヤジや「産んだあなたの責任はどうか」と、多くの待機児童をつくった行政の責任を棚上げにし、保育園に入れず悩み苦しんでいる親たちを攻撃する自民党国会議員に批判の声が上がっています。政府は全国で育児休業延長者などを含めれば8万人超にのぼると発表し、施設の保育士配置数や施設面積を緩和させて、子どもの受け入れ枠を広げることなどで解消しようとしています。政府には公的保育の責任に基づく抜本的改善が求められています。同時に、緊急対策についても自治体任せにせず、安全に配慮したきめ細かい対応をとることが必要です。